

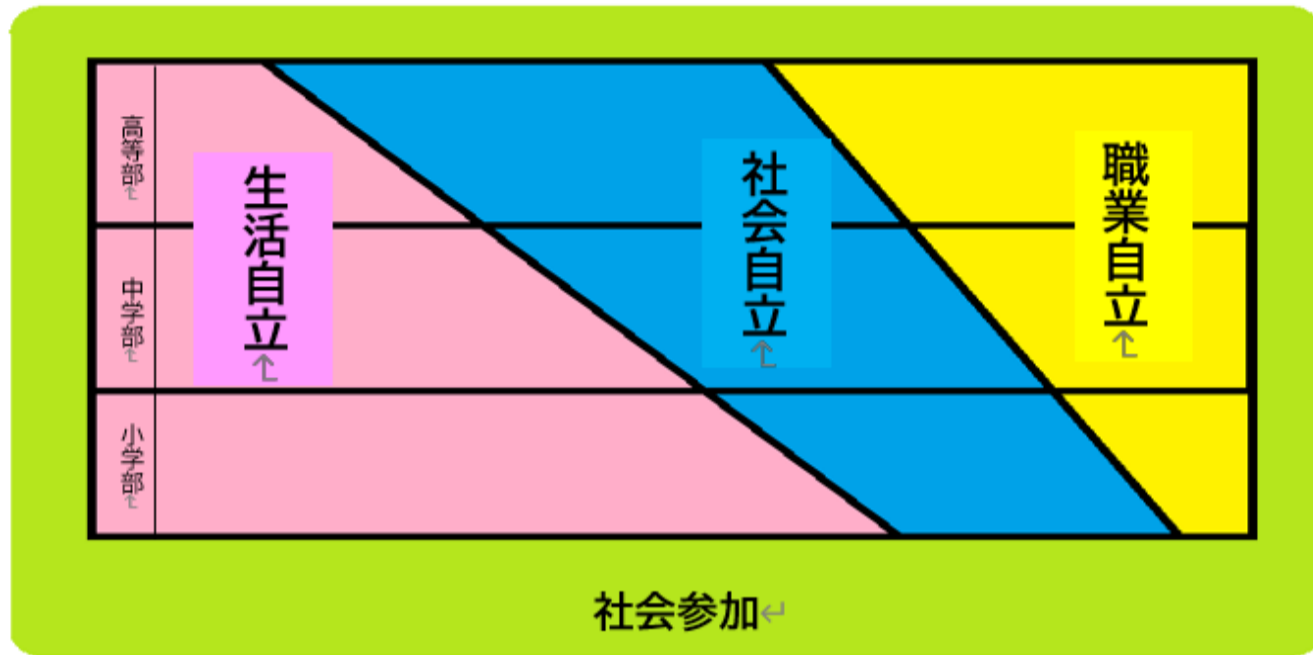
岐阜県立飛驒特別支援学校



◆ 本校の教育目標 「ひとりだちのできる子」の育成（自立と社会参加の力を育てる）

◆ 本校の教育方針

児童生徒一人一人の障がいの特性に応じた、きめ細やかな支援や指導を通して、個々の可能性を最大限に引き出すことを目指し、自立と社会参加の力を育てる。



◆ 高等部の教育の重点

[生活自立]

- ・卒業後の社会生活や家庭生活等に必要な力を身に付け、将来の生活に活かす意欲や態度を育てる。
- ・基礎的・基本的な知識や技能を習得するとともに、自ら学ぼうとする姿勢を育てる。

[社会自立]

- ・集団の中でのルールやマナーを理解し、周りの人の気持ちを尊重しながら活動しようとする態度を養う。
- ・自己理解を深めることにより、好ましい人間関係が構築できるよう、場や状況に応じたコミュニケーション能力を育てる。

[職業自立]

- ・実践的な学習を通して自己のもつ職業スキルや適性をふまえた進路選択ができる力を育てる。
- ・働くことの意義を理解し、働くために必要な知識・技能・態度を育てる。

◆ 学習について（教育課程）

卒業後の進路を見据え、一人一人の生活力を高めるために個々に適した学習ができるよう、9通りの教育課程があります。重複障がい学級の教育課程で学習する場合でも、状況によっては、通常学級で学習することもあります。代表的な教育課程が次の2通りです。

<通常学級>

* A類型：健康の保持増進や生活自立を目指し、自立活動や作業学習を中心に学習します。

* B類型：職業自立及び社会自立を目指し、作業学習や教科学習を中心に学習します。

A	日常生活指導 3	生活単元学習 4	作業学習 6	国語 1	数学 1	音楽 2	美術 2	保健体育 2	特活 1	自立活動 6	総合的 探究 2	
B	日常生活指導 3	生活単元学習 4	作業学習 9			国語 3	数学 2	音楽 1	美術 1	保健体育 4	特活 1	総合的 探究 2

(1週間当たりの時間数)

* 生活単元学習：生活自立に向けた学習

- ・教科等を合わせ、自立的な生活に必要な事柄を実際的、総合的に身に付けることを目的に学習します。

* 作業学習：職業自立・社会自立に向けた学習

- ・作業をとおして、働くことの意義を理解し、働くために必要な知識や態度を身に付けることを目的に学習します。
- ・調理班 ・染織工芸班 ・木材工芸班 ・陶芸班 ・ビルクリーニング班 ・どんどん工房手芸班

<校内作業実習・現場実習> 年に2回、各2週間実施

- ・個々の適性に応じた作業を一定時間継続して行い、働く習慣を身に付けます。
- ・共同作業をとおして、人との接し方を学びます。
- ・1年生の後期より、一人一人の状態に応じて、企業や福祉施設等の現場において実際に働く経験をします。

* 日常生活指導：生活自立に向けた学習

- ・日常生活が充実し高まるように、日常生活の諸活動（基本的な生活習慣、健康管理、挨拶、衣服の着脱、排泄、言葉遣い、身の回りの整理、危険防止の安全指導など）を適切に行えることを目的に学習します。

* 自立活動：A類型のみ実施

- ・個々の障がいに基づく種々の困難を、主体的に改善・克服することを目指した学習をします。

* 部活動：週3回（月・水・金）の放課後に、全員参加で実施しています。部によっては、県の大会等に参加することもあります。

- ・運動系：陸上部、卓球部、フライングディスク部、軽スポーツ部
- ・文化系：文化・美術部、文化・音楽部、チャレンジ部

◆ 学習の様子

校内作業（取り組みの様子、実習報告会）



生活単元学習



教科学習



美術



国語



数学



体育

◆ 部活動の様子

陸上部



卓球部



フライングディスク部



軽スポーツ部



音楽部



美術部



◆ 学校行事の様子 ・ 修学旅行（3年生）



・ ひだっ子祭（学校祭）



遠足（2年生）



遠足（1年生）



・ やる！やる！マーケット



・ 運動会

